

# 春日神社



## 社報 春日神社

第十九号

発行日 平成25年7月1日

発行者 〒870-0031

大分市勢家町4-6-87

春日神社 宮司 宮本隆之

TEL 097-532-5638

題字 東郷平八郎

## もくじ

宮司挨拶／祭典ごよみ／夏祭りが間近に迫りました

春日敬神婦人会 日帰り旅行／春日敬神婦人会 新会長就任

特別寄稿 参議院議員 山谷えり子／巫女舞講習会／「春日の社」

人事／陶芸作品の奉納／役職者の退任／Fリーグ パサジィ大分祈願祭

中学生職場体験学習／婚礼展「永遠のちぎり」

# 御挨拶

宮司 宮本隆之

空梅雨を思わせる晴天続きの日々から一転、陽性型と呼ばれる本格的な雨模様となっていました。本年は年明けから厳しい寒さが続き、季節外れの豪雨や五月での積雪と、美しき日本の四季を混乱させているような自然の悪戯に、心も体も些か揺れ動かされなんとなく落ち着かない気分ですが、やはり私たちも自然の摂理の一部分なのだとあらためて感じさせられています。

このような中でも当社恒例祭のひとつとして例年通り六月三十日に、半年間の罪穢れを祓う祭りである「水無月の大祓式（茅の輪神事）」を斎行し、身も心も新たな気分で七月を迎えています。七月は当社を含め兼務神社でも賑々しく夏越大祭が執り行われます。御神輿の巡行が行われる神社では、準備に総代・青年会のメンバーが日々力を注いでいます。日本人は鐘・太鼓の音を聞くと血が騒ぎ、祭りの輪に自然と足が向いてしまいます。とってつけたイベントでない、伝統に根差した本物の祭りで地域を活性化し、昔のようにもっともっと活気あふれる大分を取り戻していきたいものです。その為には多くの方に参加して頂き、喜びを共有できる仲間をつくってもらいたいと思います。

さて愈々今秋、本宗と仰ぐ伊勢の神宮では式年遷宮の中心とされる「御正殿遷御の儀」が斎行されます。山口祭・木本祭から始まり、この八年間に国民総奉賛のもと諸祭儀が滞りなく執り進められ、第六十二回式年遷宮の集大成となる大儀を迎えることと相成ります。千三百年続くこの遷宮は、私たち日本の悠久の歴史・伝統・文化の精華といふべきものであることから、皆さまには大神様をお迎えした檜の香る新宮に是非ともご参拝頂きたいと思えます。神々しくも清らかな空間に身を置き、そこであらためて日本人として生まれた有難さを感じるからこそが、次の遷宮に向けた第一歩となるのではないのでしょうか。

文末ながら皇室の弥栄を言祝ぎ奉りますと共に、氏子崇敬者皆様のご健勝とご平穩を心よりお祈り申し上げご挨拶と致します。

## 祭典ごよみ

七月 十八日 夏季大祭 宵祭

子ども神輿巡行

十九日 夏季大祭 夏越大祭

大神輿巡行

九月二十五日 撰社天満社祭

十月 十八日 秋季大祭 宵祭

十九日 秋季大祭 神幸祭

潮掻き神事

十一月十五日 七五三祭

※当日に限らず、毎日祈願祭を奉仕しています

十一月二十三日 新嘗祭

十二月二十三日 天長祭

十二月三十一日 師走大祓式・除夜祭

毎月一日・十五日は月次祭

# 夏季大祭が間近に迫りました

当社祭典の中で一番規模の大きい行事である夏季大祭まであとわずかとなりました。この行事に向けて、当社氏子青年会会長木村成淑氏また本年度総先導を務める芦原研二氏を中心に五月から準備会議を開始、そしていよいよ巡行路が決定しました。

神輿の担ぎ手は例年約六百名となっており、今年も氏子町内また一部企業からの参加を取りまとめられています。参加希望のお問い合わせは社務所までご一報下さい。また、各企業のご協力により境内や参道には「奉燈」が灯されますので、こちらもご覧頂きたい。どうぞご参拝をお待ちしております。

**七月十八日(木)**

午後四時 宵祭

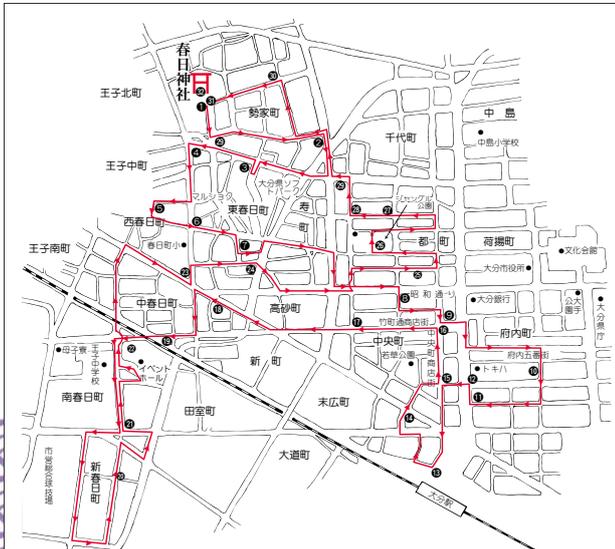
午後四時半 子ども神輿巡行  
(雨天の場合は二十日九時に順延)

**七月十九日(金)**

午前十一時 夏越大祭

午後二時 大神輿巡行

※両日とも庄内神楽の奉納があります



## 《御神輿巡行路》

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 出 発 式 13:40          | 10 寿司めいじん春日店 17:40  |
| 1 春日神社出御 14:00       | 19 中春日・鳥羽文具店 17:50  |
| 2 勢家町・西應寺 14:15      | 20 新春日町公民館 18:20    |
| 3 ソフトパーク・OEC 14:25   | 21 南春日・荒金酒店 18:40   |
| 4 東春日・肉の木村屋 14:35    | 22 大分イベントホール着 18:50 |
| 5 西春日・大野屋ビル 14:45    | (夕食休憩)              |
| 6 東春日・伊藤田クリニック 14:55 | 大分イベントホール発 19:30    |
| 7 東春日・塚川病院 15:05     | 23 西春日・第一電話 19:50   |
| 8 木村写真本館 15:25       | 24 東春日・木村外科 20:10   |
| 9 ガレリア竹町ドーム 15:40    | 25 アリントンホテル 20:25   |
| 10 府内アクアパーク 15:55    | 26 ジャングル公園着 20:45   |
| 11 府内町・太田旗店 16:10    | ジャングル公園発 20:50      |
| 12 トキハ 16:15         | 27 第一ビル 21:05       |
| 13 JR大分駅 16:35       | 28 時計台ビル 21:15      |
| 14 末広町・小幡歯科 16:45    | 29 都町・モコ美容室 21:20   |
| 15 ヤノメガネ中央店 16:55    | 30 勢家町・松岡商事 21:35   |
| 16 ヤノメガネ竹町本店 17:10   | 31 春日神社神門前 22:10    |
| 17 ガレリア竹町西口 17:30    | 32 春日神社還御 22:30     |

# 春日敬神婦人会 日帰り研修旅行

会長 續 道子

梅雨の晴れ間というか、夏を思わせる暑い日となった六月四日、引率の山本禰宜さんと神田出仕さんに私たち会員を合わせた計十九名で、恒例となった本会の日帰り研修旅行を実施しました。

午前九時、春日神社御神前においての月次参拝では、今日の研修の安全と成功をお祈りしました。その後私たちを乗せたバスは、中九州道を利用して約一時間をかけ竹田市扇森稲荷神社へと向かいます。同社は上記社名よりも「狐頭さま（こうとうさま）」と呼ばれ親しまれています。由緒書によると元和二年（一六一六）、岡藩主中川久盛公が稲荷神を勧請して創祀されたそうです。天保年間の藩主中川久昭公の夢に神霊となつて現れた稲荷神のお告げによつて、難を逃れることができたことから一層厚く崇敬したとのことで、今日では地元はむろんのこと県内外に広く知られている大分県を代表する稲荷神社です。神社に到着、さっそく相馬久則宮司様

のご奉仕により正式参拝をさせて頂きました。祝詞に続き、会員を代表して私が玉串拝礼をさせて頂きましたが、とても心地よい緊張の中で参拝でした。お参りに続いてご由緒の説明があり、この地は五世紀ころの古墳も発掘されていて、お稲荷様をお迎えする以前のからの信仰の地であったことを初めて知りました。

お茶を御馳走になり記念写真を撮つてお宮を後にし、昼食会場である「竹田茶寮」へと向かいました。画聖田能村竹田の旧居に程近く見晴らしの良いお店で、お料理も豆腐田楽の他に季節の物が程よく配されて、大変満足のいくお昼ご飯を頂きながら、参加者一同和やかにお話がはずんだのでした。そして途中「くじゅう花園」に立ち寄つておいしい空気ときれいな花を満喫し、一路春日神社へとバスは走り帰路となりました。

今回は会員の参加がすこし少なかったのですが、何よりも天候に恵まれた一日となつて、大変楽しく実りのある研修となりました。



## 春日敬神婦人会 新会長就任

現在三十六名の会員が参加する春日敬神婦人会ですが、十六年の長きにわたり会長をつとめた甲斐千代子様に代わり、新年度から續道子様が新会長に就任しました。續会長は昭和三十八年に入会し、平成十二年から副会長として甲斐会長を補佐されたほか、神社諸行事のお手伝いをはじめとして、皇居勤勞奉仕団や神社庁の研修会などにも率先して参加いただいています。また先年には大分県神社庁設立六十五周年記念表彰を受けられるなど、常に中心的な活動をしてこられました。

同会は毎月一日の月次参拝と例会・昼食会をメインに種々活動を行つており、新会長のもとますますのご発展をお祈りしています。尚、役員は次の通りです。

会長	續 道子（新任）
副会長	中西 久江（留任）
副会長	平野 邦子（留任）
副会長	宮本 志津（留任）
会計	木村 徳代（留任）
監査	森 郁子（留任）
相談役	甲斐千代子（新任）



神道政治連盟国会議員懇談会 副幹事長

参議院議員 山 谷 えり子

四月十四日、私は安倍総理、関係閣僚らとともに慰霊祭とご遺骨収容現場視察のため二度目となる硫黄島を訪れました。

太平洋戦争末期の硫黄島では、栗林中道中将を最高指揮官とする日本軍と米軍が激しい戦火を交え、米軍が五日で占領できると考えていた島を徹底した持久戦法で三十六日間にわたって日本軍が死守していました。

持久戦に備え、日本軍が掘った総延長十八キロに及ぶ壕にも入りましたが、中は地熱で四十度近く、数分で全身から汗が噴き出る状態です。渴きを癒す水もなかった当時のことを思い、本土への攻撃を一日でも遅らせようと盾となってくれた多くのご先祖さまたちに、私はひたすら祈りを捧げてきました。

硫黄島で戦死した日本兵のために国が建立した天山慰霊碑は、戦闘の間、地下壕に立てこもっていた日本兵が明るい陽の光をみることなく亡くなっていったこと、また米軍が壕に海水とガソリンを流し込み火をつけたので、今もなお多くの英霊が暗闇に眠られているため、慰霊碑はあたたかい光と青空をのぞめるようにという配慮から、天井部分が切り取られ空がみえるようになっていきます。

最後の総攻撃を前にしたためた訣別電報で栗林中将は、『国の為重きつとめを果たし得て矢弾(やたま)尽き果て散るぞ悲しき』と歌を添えています。

『精魂を込め戦ひし人未だ地下に眠りて島は悲しき』【陛下御製】  
『銀ネムの木木茂りあるこの島に五十年(いそとせ)眠るみ魂かなしき』

【皇后陛下御歌】

と詠まれています。両陛下が揃って「悲しき」で終わる歌を詠まれたのは、まるで栗林中将の魂に伝えられたかのように感じます。

また、日本軍との激戦のうちに、硫黄島の播鉢山に米軍がたてた星条旗の写真はあまりにも有名ですが、安倍総理はじめ議員らともこの「旗」にまつわるエピソードについて語り合いました。この写真は、AP通信の写真家ジョー・ローゼンタールが撮り、同年のピューリッツァー賞(写真部門)を受賞しました。アーリントン墓地にある合衆国海兵隊記念碑もこの写真をもとに作成されているものです。

実は、最初に米軍が播鉢山に星条旗を掲げた翌日、播鉢山守備隊だった日本兵がこれを奪還して、かわりに日章旗を掲げていたのです。

その後、米軍が再度星条旗を掲げたものの、翌日には、またもや日本兵により別の日章旗が山頂にはためいていたのです。

最後の最後まで、生命を賭して山頂に臨み、日章旗を掲げた志に深く思いをいたし、あらためて人々の心のうちにある「旗」のもつ意味の大きさに心がふるえました。

私の父、山谷親平は加藤隼戦闘隊に志願兵として飛行第六四戦隊、いわゆる加藤隼戦闘隊のパイロットとしてジャカルタと海南島、ビルマで戦い、三度撃墜されながらも生還いたしました。体中に機銃掃射を受けた弾の破片を残し、関節のあちこちが曲がらぬ傷痕軍人の体で、戦後の復興を亡き戦友たちに誓いながら生きぬきました。そんな父の口癖は「おつりの人生。亡き戦友に申し訳ない」で、まだ幼かった私と弟にも、いつも話しておりました。

国のために尊い生命を捧げられた戦没者のご遺骨を故国にお迎えすることは、国の責務です。大東亜戦争での戦没者数は約三百十万人のうち、本土以外(沖縄、硫黄島を含む)での戦没者数は約二百四十万人にのぼり、戦後六十七年を経過した今日においても、先の大戦による戦没者のうち未帰還のご遺骨は約半数の百十三万柱に及びます。硫黄島では、戦没者二万二千人のうち、ご収容されたのは未だ半数という現状です。

今をいきる私の使命は、未だ各地で懐郷の念を抱きながら待ち続けている未帰還のご英霊をわが国で安らかに眠りただけるよう遺骨帰還事業を推進することであり、それは父から託された宿題を遂げることでもあると強く感じております。

# 伊勢神宮雅楽祭祀舞講習会

巫女 深田 葵

春日神社では恒例祭典や結婚式で私たち巫女が「豊栄舞」をご奉仕しています。本年四月の奉職以来、先輩の指導により練習を重ねてきました。さらに正確に習得できるようにと、今回六月二日から六日までの日程で、伊勢神宮で行われた講習会に参加してまいりました。

参加者の中には、私のような初心者から長年にわたって受講している上級者まで幅広く、雅楽は楽器別、そして舞は「浦安舞」「豊栄舞」「朝日舞」との舞別に、全国から集まった百六十名が受講しました。講習では講師である神宮楽師の先生と上級の受講生により、体全体の使い方や姿勢また手足の角度など、美しく舞えるようにと丁寧に教えて頂きました。また、一日の講習が終わってからは他の受講生の方々と会話を楽しんだり、時にはおはらい町やおかげ横町を散策したりして過ごしたのですが、舞に限らず他の神社の事など様々な事を知る事ができて、とても良い勉強になりました。

最終日には、玉砂利の参道を進んで神宮内宮に正式参拝を行いました。今年には神宮式年遷宮を迎える年なので、新しい社殿と古い社殿が並んでいる普段見る事が出来ない様子に、大変神々しく清々しい気持ちになりました。そして引続き参集殿において、先生方や参拝者の方々が見守る中で大神様に舞を奉納しました。とても緊張しましたが良い経験が出来た事に感謝しています。

今回、この研修でご指導頂いた基本を忘れず、初心に立ち返る気持ちを常に持つてご奉仕していきたいと思っております。

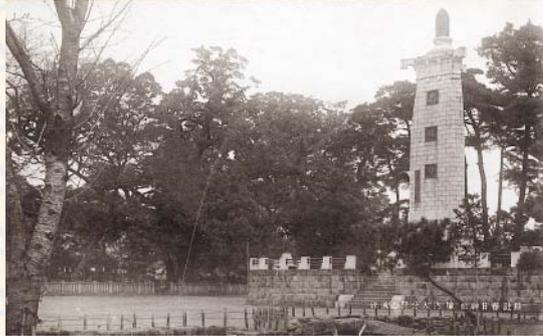


# 春日の杜

散策

vol.17

# 忠魂碑



かつて春日公園内東側で蓬萊山横に、高さ約十メートルほどにもなる「忠魂碑」がありました。この忠魂碑は昭和四年（一九二九）、大分県在郷軍人会並びに県民の奉賛によって建設されたもので、日清日露戦争・済南上海事変・大東亜戦争にて戦死された英霊をお祀りしたものです。また碑としては当時、市内では唯一のものでした。

終戦後、マ政令により塔の頂上の砲弾をはじめ周囲の銅板が取り除かれて荒れていたものを、昭和三十二年（一九五七）になって市民有志により復旧運動が起こります。「忠魂碑復旧発起人会」を立ち上げ、自治委員・自治運営委員・婦人会等を通して、市民一世帯あたり平均十五円の募金を目標に活動を展開しました。そして約半年で二十七万円が集まり、さらに市からの補助金十万円が追加されて目標に達したことから、念願の修復工事に着工。翌昭和三十三年十月、見事完成に至ったのです。その時の工事内容は碑の周囲に鉄柵を設け、塔の頂上には平和の象徴としての鉄球を取付けるといったものでした。その後、碑はひび割れや鉄さびなどの老朽化により危険な状況となったことから、惜しまれつつも平成六年（一九九四）二月に解体。修繕した上で胴の部分のみを公園西側に移設して今日に至っています。尚、「忠魂碑」の文字は時の陸軍大将金谷範三（豊後高田市出身）揮毫によるものです。

## 人事

### 退職

平成二十五年二月二十八日付  
巫女 袖川 未菜  
平成二十五年三月三十一日付  
権禰宜 橋本 頼房  
(日田市大原八幡宮権禰宜に転任)

### 採用

平成二十五年四月一日付  
出仕 神田 宗伯  
(豊後大野市出身)  
平成二十五年四月一日付  
巫女 深田 葵  
(大分市出身)

## ◎ 退任の役職者に感謝状

当社の運営に多方面にわたり関わって頂いている責任役員・総代と敬神婦人会のうち、平成24年度末をもって退任された役職者三名の方々に対して、4月13日の例祭直会の席上で宮司から感謝状と記念品が授与されました。

責任役員川崎安太様は平成7年の就任以来、同12年の社務所参集殿造営事業や23年の千百五十年祭を推進。また、大分県神社庁協議員や大分支部総代会長も務めました。総代会会計監査役祓川信彦様は平成四年の総代就任であり、上記役職のほか、夏祭りの子供みこしについて氏子地区内子供会の取りまとめ役として長年にわたりお力添えを頂きました。また、春日敬神婦人会長の甲斐千代子様は昭和41年の入会、平成8年に副会長そして12年に会長に就任、この間には大分県敬神婦人連合会の副会長も務められました。



## ◎ 陶芸作品の奉納

地元勢家町の松岡良茂様の紹介により、中津市伊藤田の陶芸家である橋本正一様から作品の奉納がありました。東京在住時代に仕事の合間で陶芸を始め、30歳で故郷に帰ってからは地元の土を混ぜ込んだ「城山焼(じょうざんやき)」として作品作りを開始。現在は美術団体「創彩会」九州支部長として活躍されています。橋本さんは販売を目的とせず市内外の各方面に寄贈を続けており、独自の工夫を凝らした作風により2年前には花器「えびね図象嵌花生」が総理大臣賞に選ばれています。

4月8日、橋本様ご自身が来社し、「ウグイス釉丸形花生」と名付けられた作品をご神前に奉納。この花生は社務所内「豊久の間」の床の間に飾られています。



## ◎ 中学校職場体験学習 本年も六校を受け入れ

近年の教育現場では、生徒たちに働くことの意義を学ばせ、自身の進路や将来を考える機会を与えるという目的から職場体験を実施しています。当社においても平成19年から市内中学生の受け入れが始まり、その後順次希望校が増えて、本年は6月の上野ヶ丘中学校を皮切りに9月までの間に六校の生徒を迎えます。当社では女子生徒に限定していますが、病院やお店などと違って特殊な現場であり、生徒の皆さんには緊張や不安があるようです。内容としてまず境内の清掃に始まり、その後に巫女の姿に着替えて基本作法・結婚式・巫女舞などを体験してもらっています。この社頭での体験学習を通して、日本の伝統や文化の素晴らしさを理解してもらえればと思います。



## ◎ 日本フットサルリーグ バサジィ大分の祈願祭

平成19年からスタートした「Fリーグ」10チームの中に、中国・四国・九州地区から唯一参戦しているバサジィ大分ですが、5月7日に役員選手等が揃って参拝、例年にならない必勝安全とクラブの発展を祈願しました。

シーズンの成績では過去最高位3位のあと、ここ数年は低迷が続いていますが、今季新監督を迎えての意気込みは高いと聞いています。是非とも7年目の今年は大いに活躍を期待したいものです。



フライダルフェア「春日物語」

# 永<sup>と</sup>遠<sup>わ</sup>のちざり

七夕の日に…

七月七日(日)十一時～十五時

## 模擬披露 12:30～

- フロアーショー (十二単・ドレスなど)
- ビデオ上映
- 婚礼料理試食 (ワンプレート)
- デザートビュッフェ

\*ご来場記念品プレゼント\*

## 模擬挙式 11:30～

- 巫女舞
- 雅楽生演奏

\*予約優先\*

お問合せ・お申込み

春日神社婚礼係 tel 097-532-5638